

新春に想う

TV や新聞を見る度に毎日のように、不況、倒産、リストラ、派遣切りなどの暗い報道が聞こえてきます。その一方で、国民の利益、国家の威厳、愛国心などまるで眼中にないような政治家達のものいいにあきれはてて、最近では、政治に対してあきらめに似た気持ちになってきました。

高齢者に障害者そして介護支援を受けなければ生活がなりたたない人々は世間に満ち、愛情に溢れたやさしい介護士達は、仕事量に対して妥当な報酬も与えられず、ただ、ひたむきに己が信じた介護福祉の世界に頑張っています。

私がNPO 法人あいあいネット神戸を立ち上げた頃は、今のように介護保険制度でしばられた福祉ではなく、近隣の助けあいやボランティアが生き生きと活動する場が生まれ出ている頃でした。

私も、その当時「誰もがふらっと立ち寄れる場づくり」をするのが夢で、熱い想いを語っていました。毎年、今年こそはと夢の実現を願っていますが、まだまだゴールには、ほど遠いようです。

今年も、「あいあいの会」の皆さん！ 看護師さん達と一緒に、体力が落ちないように足腰を鍛え、書道、手芸、華道、頭の体操でぼけ防止をしながら、あっちこっちへドライブを楽しんで、おいしいものを食べに行きましょうね。

特定非営利活動法人 あいあいネット神戸 理事長
(有)ケイホホワイト ケアプランセンターうさぎ 所長 木村 由巳子
ヘルパーステーションうさぎ



書道で干支(辰)のカレンダーを

あいあいの会のメンバーで、今年の干支(辰)をカレンダーに書きました。

最近入られた方は、久しぶりの書道で“何年ぶりに筆を持つわ”と言いながら積極的に書いておられました。好奇心が旺盛なのは見ていて気持ちがいいですね。



<介護保険制度を振り返って>

あいあいの会 高橋看護師

ヘルパーステーションうさぎの10周年記念パーティーに出席させていただきました。

参加者全員が生き生きとされ、楽しさと笑いと熱気に満ち溢れていました。少しお年の方、ピチピチの若者、そして男性の参加者の多い事。ホームヘルパーの集いがそこぬけに明るい。よい介護ができている参加者全員が、介護に誇りと、自信を持って働いている証だと思いました。



介護保険制度が始まって以来、ホームヘルパーの制度ほど行政の法改定にもて遊ばれた感のあるサービスはないと思います。介護保険制度が始まる2年前の事でした。

厚生省のモデル事業で、訪問看護師とホームヘルパーが同行して褥瘡のひどい利用者宅にサービスに入りました。ナースが褥瘡のガーゼ交換と身体状況の観察を行い、ヘルパーが清拭をするのです。24時間巡回サービスの中で計画されました。採用するヘルパーは全員正職でした。医療、福祉の連携のため、毎月カンファレンスもしました。出席者は医師会の在宅担当医師、保健師、神戸市の担当者です。

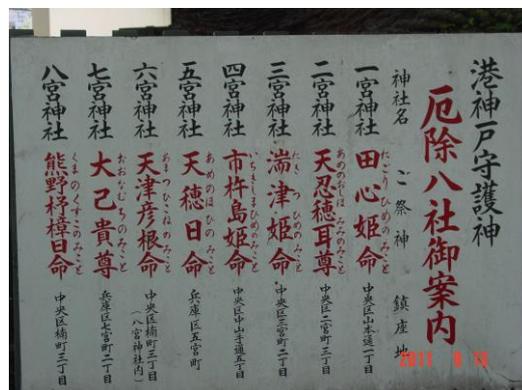
ケアプランは在宅介護支援センターが作成しました。モデル事業で利用者負担もありません。褥瘡はみるみる改善されました。障害者も対象でした。2年後に介護保険制度が始まると同時に、二つのサービス併用はなくなりました。24時間の巡回もできなくなり、身体介護のみ行っていたサービスも、生活支援にシフトされました。モデル事業の意味は、手厚いサービスは理想的だが介護保険制度ではできないとの結論になったのでしょうか。6人もの正職ヘルパーの人件費もでなくなりました。通院介助も、身体介護で時間が長くなり、費用が重み、診療室に入ればカットになりました。また、身体介護は2時間の間を空けて、介護保険を利用することになりました。経済的な理由で人やサービスを切っていく一方で、特養の建物がホテルの様なのはどうした事。ヘルパーの教育制度においても、促成栽培的な養成を見直して介護福祉士に一本化する事を念頭に、「介護職員基礎研修」の新カリキュラム（①認知症の理解②医療及び介護を提供する者との連携③介護における社会福祉援助技術④生活支援のためのアセスメントと計画）が公表されました。大学の福祉関係の研究者、介護福祉士養成施設の教員、介護現場の実践者等が編集しました。上記のカリキュラムは、介護福祉士の受験に役立つでもなく、介護現場に役立つでもなく、公表のみで終わってしまいました。介護保険制度は、改定のたびに在宅重視とのかけ声がありますが、厳しい財政事情の中で意味もなく点数改定し、介護現場に混乱のみ残さないで欲しいものです。

けれど、うさぎのヘルパーのようなパワーがあれば、何があっても元気に今年も飛躍できると信じてやみません。

デイサービス活動日記(8月～12月)

《神戸八の宮巡り》

皆さんご存知でしたか。神戸市内には一の宮～八の宮までの八幡神社があることを！ 名前は知っていても、どこにあるかは知らない方がほとんどではないでしょうか。あいあいの会は、毎月1回のお出かけの日でそれらの神社を回る計画をたて、3か月かけて全て参拝することができました。「へえーこんな所に！」とか「いつも側を通っているのに気がつかなかったわ！」とか、何年も神戸に住んでいても知らない所はまだまだあるものです。前回の七福神巡りと違って、全て町の中にあるのでそれほど歩くこともなくゆっくりとお参りすることができました。



☆平成23年9月10日 一の宮～五の宮

☆平成23年11月5日 六の宮～八の宮



〈あいあいの会 4月予定表〉

日	内容	昼食メニュー
4月 7日(土)	お休み	
4月 14日(土)	平清盛史跡巡り	外食
4月 21日(土)	口腔機能改善プログラム・書道	魚のねぎ味噌焼き、かぼちゃサラダ他
4月 28日(土)	運動器機能改善プログラム	鶏肉のホワイトシチュー他

〇〇さんの雑記帳(節目)

今年の春で私たち夫婦は20年目を迎えます。正直早いなあの一言しかありません。阪神淡路大震災のとき7ヶ月だった娘は、テーブルの下でニコニコして座っていました。もう、今ではテーブルの下にも座れません(笑)いい大人になってきて一人前です。そして、結婚式で私のベールを踏んで後ろにのけぞらせた姪っ子がもうすぐ結婚します。あの時1年生で小さかったのに。



披露宴でお子様向けのフルコースを満面の笑で頬張っていたのに。

今年は高砂に座るのだなあとと思うと、妙にしみじみと時間の流れを感じるのです。

そして、結婚した頃からバブル経済に陰りが見え始めはじけたもののいつか景気は戻るだろうと信じて過ごしてきた20年でもあります。今年こそ景気回復と思いながら早何年一体何がいけないんでしょう。ひとりひとは必死に日々を生きているのに。日本だけではなく海外の状況も大きいのでしょうか、よくわからないまま流されて生きている気がします。

昔は憧れていたヨーロッパのいろいろなことが見えてきたのもここ数年のこと。20年前ならそんなこと考えもしなかったし、思いもしませんでした。インターネットの普及で世界がリアルタイムでつながるといのは素晴らしいことでもあるけれど、怖いことだとも思うようになりました。

便利だけれど不便。いや不都合?。この20年で本当に環境は大きく変化したけれど、これから先の20年はもっともっと変わっていくのでしょうかね。

そして、その中でどうやって日々の暮らしを積み重ねていけるだろうか・・・そんなことを考えます。

年末に放送が終了した「坂の上の雲」の冒頭のナレーションで「まことに小さな国が開花期を迎えようとしている」がありました。開花期はまだ訪れるのでしょうか。訪れて欲しいと思い、今年のえべっさんでは縁起物を初めて購入しました。

毎日手を合わせて開花期を待ちたいと思います



☆あいあいネット神戸ニュース

◇活動日誌(8月~12月)

○平成23年11月26日

「NPO法人あいあいネット神戸設立9周年」・「ケイホワイト創立12周年」・「訪問介護事業所ヘルパーステーションうさぎ設立10周年」記念パーティーを開催しました。

編集後記

- 今年も、神戸はイカナゴの季節になりました。春は確実に巡ってきますね。(ま)
- 秋に植えたピオラが、寒い冬を乗り越えて花を咲かせました。もうすぐ春ですね。(な)
- ベランダ農園の鉢植えのきんかんに10個あまりの実がなりました。こっそり食べてみたら甘かったです。ヤッター!(ゆみりす)